



宜野湾市地域公共交通推進協議会 【デマンド交通実証運行計画（素案）】

令和7年12月2日
宜野湾市都市計画課



1. 実証運行の展開方針

- 令和6年度において、新たな交通サービス導入にかかる実証運行の方向性及び実施方針を設定している。

新たな交通サービス 導入の目的

- ◆ 公共交通空白地域にお住いの方や高齢者など交通弱者の移動手段を確保し、もって、市民の外出機会の増進や社会活動への参加の促進など健康や豊かな生活を支える。
- ◆ 既存公共交通を補完することで市内の公共交通ネットワークの重層化並びに利便増進を図り、自家用車から公共交通への転換を促進する。

■実証運行の実施方針

1. 目的

- ① 実証運行結果（利用実績、利用者層、目的地等）の分析を行い、市民の移動ニーズ・需要量を把握する。
- ② 公共交通空白地域における課題解決、日常生活における利便性向上などの効果を検証する。
- ③ 実証運行の実績を評価する上で、健康まちづくりなど、他分野との共創によるクロスセクター効果を検討する。

2. 展開方針

- ① 実証運行エリアは、実証運行結果分析を行いながら、段階的に拡大等の検討を行う。
- ② 実証運行の実績や分析内容、市民、利用者の意見を踏まえ、必要に応じてサービスの改善を行う。
- ③ 路線バスとの連携による相乗効果、路線バスの利用者数の変化等を分析し、路線バスとの親和性を検証する。
- ④ AIデマンド交通以外の交通モードについても比較・検討を行い、本市にふさわしい交通サービスのあり方を検討する。

3. スケジュール

- ① 実証運行は、令和8年度開始を目指す。
- ② 令和7年度は実証運行前の準備段階として位置づけ、関係機関調整や運行計画等の作成を進める。

2. 宜野湾市内の公共交通空白地域について



宜野湾市役所

- 公共交通空白地域は市外縁辺部や駐留軍用地境界付近に、9地域点在している。
- 令和6年度には、都市計画マスタープランにおける地域別構想の地域ごとに地域特性分析を行った。

■公共交通空白地域の状況



■公共交通空白地域

近くにバス停がなく、公共交通の利用が不便な地域。本計画では、徒步圏内を考慮し、
バス停から半径300m以上離れた地域を公共交通空白地域として設定しています。

出典：宜野湾市地域公共交通計画

■地域別構想の地区区分



北地区	喜友名区、新城区、普天間1~3区、野嵩1~3
西地区	宇地泊区、真志喜区、大山区、伊佐区
南地区	真栄原区、嘉数区、上大謝名区、大謝名区、嘉数ハイツ、大謝名団地
国際学園都市地区	宜野湾区、長田区、我如古区
東地区	中原区、愛知区

出典：宜野湾市都市計画マスタープラン

3. デマンド交通実証運行計画（素案）

進捗：○本日協議会での提案
▲検討中（方針は本協議会で提示）



実証運行に向けて 決定が必要な項目	進捗	内容	方針・理由
(1) 事業形態	○	道路運送法第21条許可による運行	区域運行を行う乗合タクシーは、道路運送法第4条による事業許可を予定
(2) 運行形態	○	配車システムを使用した、ミーティングポイント間を運行するフルデマンド交通	<ul style="list-style-type: none"> 乗降場所が指定（予約）することによる、効率的な運行が可能である 一般タクシーとのすみわけにもつながる
(3) 運行区域及び乗降場所	○	南地区（その他公共交通空白地域）及び目的施設が多いエリア	「南地区」と我如古地区の公共交通空白地域、アンケート結果による利用目的が多い施設が集まるエリアを区域や目的地（乗降場所）として設定
(4) 運行期間	▲	—	令和8年7月以降の運行開始を目指
(5) 運行日・運行時間	○	毎日運行（平日、土日祝） 7時～21時	<ul style="list-style-type: none"> 住民アンケート結果から要望が多い時間帯 利用者ニーズに最大限に応えることによる利便性の向上 事業者との調整にて変更の可能性有
(6) 運行車両・台数	○	車両： ジャンボ（10人乗り）・ 小型（5人乗り）の交互運行 台数： 運行区域決定後	<ul style="list-style-type: none"> 運行効率の観点から実証運行区域に適した車両サイズや台数を検証したい。 利用者目線から適した車両サイズを検証したい 運行事業者等との調整にて変更の可能性有
(7) 運賃	▲	—	<ul style="list-style-type: none"> 住民アンケート結果より支払い金額の検討幅を設定 その他公共交通サービスの運賃とのバランス 運賃協議会を設置予定
(8) 公共交通との相乗効果 施策	▲	—	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスとの相乗効果を高めるため、乗継利用を促進する方法などを検討
(9) 運賃支払い方法	▲	—	利便性が良いように多様な方法が望ましいが、配車システムや運行事業者との調整が必須
(10) 予約運行管理システム	▲	※資料4参照	—
(11) 運行事業者	▲	※資料4参照	—

4. 運行形態の考え方



宜野湾市役所

- ・ フルデマンド型のミーティングポイント方式での実証を想定
- ・ ミーティングポイント方式により乗合率を高め、効率的な運行に取組む

分類	ドアtoドア方式		ミーティングポイント方式		関連データ
	考え方	設定方法	考え方	設定方法	
(1) 自宅側 停留所	自宅から乗降可能。歩行負担をゼロにする	利用者の登録住所を基に、自宅または近接可能な地点を乗降場所とする ※車両が安全に停車可能な場所を優先	自宅から無理なく歩いて行けること	居住地からアクセス可能な地点 ※居住地から停留所へ無理なく歩いていけること	・人口メッシュ (国勢調査)
(2) 目的地側 停留所	生活関連施設付近まで直接運行し、移動の利便性を最大化する	生活関連施設の住所を入力し、到着地点とする	生活関連施設の近くであること	目的地となり得る生活関連施設	—
(3) 交通 結節点 周辺 停留所	幹線路線のバス停を起点/終点として広域交通との連携を確保する	地域内の路線バスのバス停近辺を乗降場所に設定	広域移動手段への乗り継ぎとして、幹線路線のバス停であること	地域内の路線バスのバス停近辺を乗降場所に設定	・バス路線、 バス停 (国土数値情報)



5. 運行区域及び乗降場所

- デマンド交通の運行区域は宜野湾市「南地区」と我如古地区の公共交通空白地域、外出における目的地が多く存在するエリアを対象として実施する。
- 乗降方式はミーティングポイント方式とし、別図に示す主要施設（行政、福祉、教育、医療、商業、公園等）を中心に乗降場所の設定を検討。
- 主要バス停をミーティングポイントに設定する等、デマンド交通と路線バスとの乗継利用促進を図る。

(1) 運行区域	図1参照 (A3判)	公共交通空白地があり、地域の日常的によく利用する施設が集まるエリアへの移動に必要な区域をエリアとして、以下の町丁目を対象とする。 <ul style="list-style-type: none">真志喜1・2・3・4・5丁目宇地泊1・2・3丁目大謝名1・2・3・4・5丁目嘉数1・2・3・4丁目真栄原1・2・3丁目我如古4丁目、字我如古字佐真下
(2) 公共交通利便増進エリア	図2参照 (A3判)	<ul style="list-style-type: none">市内に9つある「公共交通空白地域」のうち3つが当該地区に存在。新たな移動サービス(地域公共交通)により、公共交通空白地域に居住している市民の地域生活を支える。隣接市町村への広域移動を支えるため、公共交通空白地域からバス停までの「ラストワンマイル」を補完し、公共交通乗継利用促進(路線バス利用者増加)を図る。 <p>※ミーティングポイントは、住民の利便性を考慮して、比較的狭い間隔で設置(多)。</p>
(3) おでかけ機会創出エリア		他地区からの目的地が集積する西地区は、移動制約者をはじめとした、新たな移動機会を生み出すエリアとして、「お出かけ機会創出エリア」に設定。 <p>※ミーティングポイントは、原則、目的地(人が集まる)のみ設置(少)。</p>
(4) 区域外特定乗降ポイント		区域外ではあるが、需要が多いと想定される目的地を「特定乗降ポイント」として設定し、より利便性の高い新たな移動サービスとして認識してもらう。

6. 【参考】運行区域及び乗降場所（アンケート集計結果）



宜野湾市役所

日常よく行くところ【買物】

行先	人数
サンエーコンベンションシティ	149
サンエー佐真下	82
サンエー真栄原	67
ユニオン宇地泊	62
パークレーズコート	54
サンエー牧港	42
サンエーパルコシティ	33
サンエー我如古	22
はにんす宜野湾	16
イオンてだこ浦西	15
コーポ牧港	15
かねひで広栄	13
かねひで真志喜	12
ドン・キホーテ	6
サンエー経塚シティ	5
ユニオン上原	4
サンエー西原シティ	4
中城ファームみなみ	2
マツモトキヨシ真栄原	2
ハッピーモア市場	2
サンエー長田	2
サンエー中城	2
サンエー浦西	2
かねひで沖国大	5
西松屋宜野湾	2
業務スーパー沖縄本店	2
サンエー喜友名	2

日常よく行くところ【病院】

行先	人数
琉大病院	23
海邦病院	23
浦添総合病院	17
ちやたに内科呼吸器科	13
かりゆしクリニック	9
宜野湾記念病院	9
メディカルプラザ牧港	14
沖縄病院	8
神元内科	8
同仁病院	7
パークレーズメディカルモール	7
じのん整形外科クリニック	7
みやぎ小児科	6
広栄クリニック・まみ皮フ科	8
牧港中央病院	5
ハートライフ病院・ハートライフクリニック	6
牧港眼科	5
まえはら内科	4
とぐち耳鼻咽喉科・かみやま皮フ科	6
いきいき耳鼻咽喉科	4
名嘉村クリニック	3
幸喜内科	3
宜野湾整形外科	3
眼科クリニック幸地	3
浦添さかい眼科	3
ふくやま整形外科	3

日常よく行くところ【その他】

行先	人数
宜野湾市民図書館	21
琉球銀行真栄原	7
宜野湾市役所	7
海浜公園	7
老人福祉センター	6
沖縄銀行我如古	6
ジスタス浦添	4
いこいの市民パーク	4
琉球銀行大謝名	3
大謝名郵便局	3
沖縄銀行大謝名	3
ラウンドワンスタジアム	4
JAおきなわ我如古	3
真志喜公民館	2
社会福祉協議会	3
嘉数小学校	2
嘉数高台公園	2
沖縄銀行牧港	2
沖縄海邦銀行てだこ	2
浦添西原郵便局	2
マイクマン浦添	2
ぎのわんボール	2
宇地泊公民館	2
てだこ浦西駅	10
普天間高校	3
琉球大学	2
保健相談センター	2



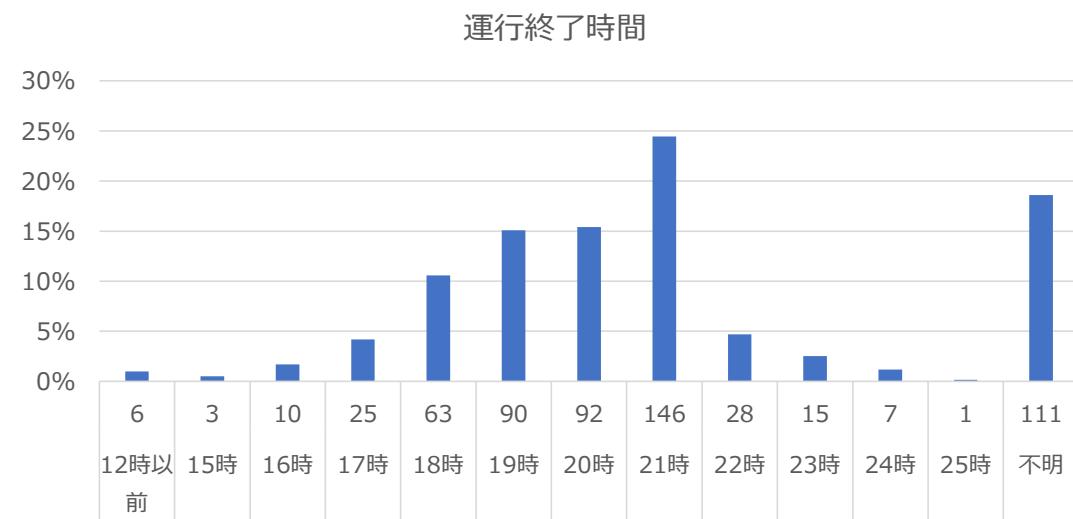
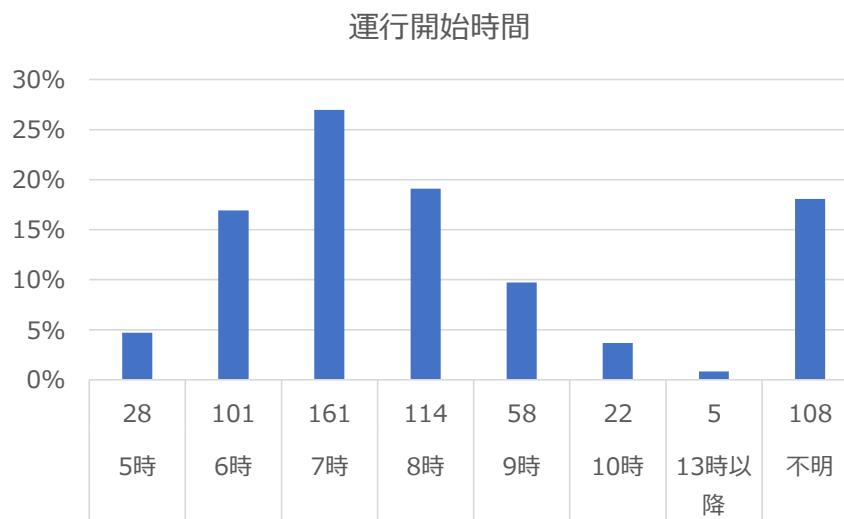
■運行日

毎日（平日、土日祝）

■運行時間

7:00～21:00

■アンケートによる運行時間帯希望



8. 運行車両・台数

- 主な利用者が居住する「公共交通空白地域」は、狭隘な道路であることから、安全に考慮して一般タクシー（コンパクトミニバン、ユニバーサルデザインタクシー）を想定。
- 一方で、利用者のニーズとしては「心地のいい車両空間」を望む声もあることから、ジャンボタクシーによる運行も検討したい。
- 相違するタイプをミックスした実証運行による、運行効率や利用者数等の比較を実施。
- 運行車両台数は2台を想定し、故障時などの対応として予備車1台を準備。

車両 イメージ	ジャンボタクシー	セダンタイプ	一般タクシー	ユニバーサル デザインタクシー
想定 車種	<ul style="list-style-type: none">トヨタハイエース グランドキャビントヨタアルファード日産NV350 キャラバン	<ul style="list-style-type: none">トヨタコンフォート	<ul style="list-style-type: none">トヨタプリウス 等	<ul style="list-style-type: none">トヨタJPN TAXI
定員 (運転手除く)	9名		4名	

9. 運賃設定の考え方



宜野湾市役所

- デマンド交通は、利用者の乗合いによって運行するバスのような性質と、予約に応じて走行するタクシーのような性質の双方を併せ持つ公共交通である。そのため、運賃は路線バスとタクシーの運賃を考慮して設定する。

■タクシー・バスの運賃を踏まえた設定

タクシー

運賃



デマンド交通



バス



想定運賃

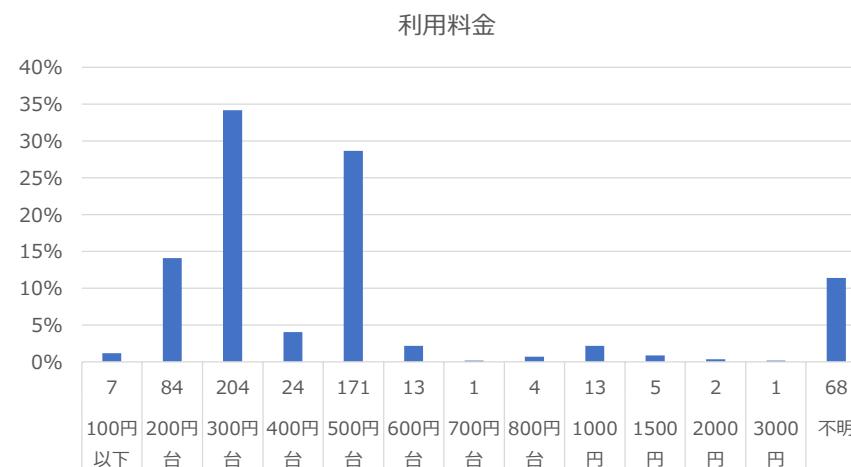
初乗り600円+100円/400m毎
例)800円 (真栄原2丁目～
サンエーコンベンションシティ)

バス運賃

例)190円 (宇地泊～我如古)
250円 (嘉数～我如古)
240円 (宜野湾高校前～我如古)

※デマンド交通での想定運賃は、子供や高齢者の利用促進を考慮する。

■アンケートによる利用料金希望



10. デマンド運行に向けたスケジュール



宜野湾市役所

- 令和8年度のデマンド交通実証運行に向け、宜野湾市に適した運行形態の検討、関係機関との調整等を進める

	令和7年度					令和8年度					
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
事業計画作成											
運行事業者選定											
システム選定											
事業計画確定											
事業許可申請											
周知・広報・説明会											
運行事業者研修											
実証運行実施											→
協議会		◆	◆	◆							
運賃協議会				◆							

*あくまで予定であり、今後の進捗によっては変更もありえる。